

Course number		U-LAS55 10002 SB31							
Course title (and course title in English)		海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発 Overseas Field Seminars :Development of Renewable Energy in ASEAN			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Energy Science Associate Professor,OGATA SEIICHI Institute of Advanced Energy Professor,OOGAKI HIDEAKI		
Group		Career Development		Field(Classification)					
Language of instruction		Japanese and English		Old group				Number of credits 2	
Hours		30		Class style		seminar (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・Intensive, First semester	
Days and periods		Intensive		Target year		All students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]									
東南アジア（タイ）のチェンマイ大学他を訪問し、再生可能エネルギーの基礎と導入時の問題点および将来展望について、現地大学の学生と共に学ぶ。									
[Course objectives]									
再生可能エネルギーの特徴を踏まえ、地域に適合した技術導入についての課題を理解する。そして、SDGsやカーボンニュートラル実現に向けた技術・社会経済・事業モデルの在り方学ぶ。また、このセミナーで学んだ知識を基に、タイ（チェンマイ県）・日本（京都府）の地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、政策提案につなげる。									
[Course schedule and contents]									
出発日前事前授業間（受講生の都合のつく時間帯に3コマ程度を実施）									
8月もしくは9月に実施する。以下は、現地（タイ・チェンマイ）での現地調査・講義のスケジュールである。									
第1日 日本朝出発 バンコク経由、現地到着 第2日 午前 オリエンテーション、午後、講義（タイと日本のエネルギー利用の特徴） 第3日 講義（地域開発と再生可能エネルギー） 第4日 近郊の再エネ施設 Chiang Mai World Green City 第5日 近郊の再エネ施設 Chiang Mai World Green City 第6日 講義 Bio-Circular-Green（BCG）経済モデルについて 第7日 講義 バイオマス・太陽エネルギー利用、実習 第8日 グループ討論（再生可能エネルギー・カーボンニュートラル実現に向けたビジネスモデル・政策モデルの検討）、発表準備 第9日 発表会、閉会式、午後チェンマイ出発、バンコク経由、翌日関西空港到着									
日程は都合により変更される場合がある。									
帰国後に、地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、レポートとして提出すること。									
-----									
Continue to 海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発(2)									

海外実地セミナー :東南アジアの再生可能エネルギー開発(2)

**[Course requirements]**

履修定員：5名

安全講習の受講、学研災付帯海外留学保険への加入。事前学習として「ILASセミナー：再生可能エネルギー政策の調査と計画」を受講することが望ましいが、必須ではない。

**[Evaluation methods and policy]**

現地での学習状況(50%)、現地での発表会報告内容もしくは帰国後提出するレポート(50%)に基づき採点する

**[Textbooks]**

Not used

**[References, etc.]**

(References, etc.)

Introduced during class

**[Study outside of class (preparation and review)]**

事前授業を含め、すべての行事に参加すること。

**[Other information (office hours, etc.)]**

前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある

旅費は自己負担となる。費用の目安は、航空運賃・滞在費などを含めて15万円程度（2019年実績）である。

本科目は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、不開講となる可能性がある

**[Essential courses]**